



平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月13日

上場会社名 株式会社ディー・エル・イー 上場取引所 東
 コード番号 3686 URL <http://www.dle.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 椎木 隆太
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO 兼 経営戦略統括本部長 (氏名) 川島 崇 (TEL) 03-3221-3980
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	842	△13.2	101	△46.7	109	△41.1	69	△72.2
26年6月期第2四半期	971	—	189	—	186	—	249	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年6月期第2四半期	4.20		3.82					
26年6月期第2四半期	19.32		—					

- (注) 1. 当社は、第2四半期の業績開示を平成26年6月期より行っているため、平成26年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載はしていません。
 2. 当社は、平成26年1月10日付で株式1株につき200株、平成26年5月16日付で株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益額を算定しております。
 3. 平成26年6月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	1,857	—	1,481	—	79.7	—
26年6月期	1,860	—	1,408	—	75.7	—

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 1,481百万円 26年6月期 1,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
通期	2,200	△26.3	433	△39.6	427	△51.0	271	△12.0	16.47	△
	2,620	50.4	557	79.4	551	94.7	351	△13.9	21.31	△

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年6月期2Q	16,498,800株	26年6月期	16,483,800株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年6月期2Q	—株	26年6月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年6月期2Q	16,496,416株	26年6月期2Q	12,901,346株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございますので、この業績予想に全面的に依拠しての投資等の判断を行うことは差し控えてくださいますようお願い申し上げます。なお、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等により緩やかな回復基調にあるものの、消費税率引上げに伴う個人消費の低迷や急激な円安による物価上昇の影響もあり、依然として不透明な状況にあります。

当社を取り巻く環境においては、スマートフォンやタブレットPCなどのスマートデバイスの普及が世界規模で急速に拡大し、それに伴い、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、動画配信サイト、ソーシャルゲーム、コミュニケーションアプリなどの新たなサービスの利用も急速に拡大しております。

そのような環境変化は、人々のライフスタイルを、スマートデバイス等を使って、最適メディアを選択し、必要なときに必要な時間だけコンテンツを消費し、SNS等を使って、即時に情報や感動を共有するといった、メディア接触方法の多様化、コンテンツ視聴の短時間化、情報共有のリアルタイム化へと世界規模で変化させ、「スキマ時間に楽しめるショートコンテンツ」といった“手軽さ”へのニーズを急速に拡大させております。

このような事業環境の中、当社では、視聴者や消費者等の多様化し変化の早い嗜好や価値観、旬な時事ネタ等を捉え、適時に対応することを強みとする、ファスト・エンタテインメント事業を展開し、インターネット時代にマッチしたショートコンテンツを量産してまいりました。

ソーシャル・コミュニケーション領域においては、新規又は既存のソーシャル・キャラクターを開発・活用し、広告主向けのソーシャル・キャラクター・マーケティング・サービスの提供及びスマートフォン向けゲームアプリやメッセージングアプリ向けスタンプ等のデジタルコンテンツの企画開発・配信を行っております。

当第2四半期累計期間においては、スマートフォン向けゲームアプリやメッセージングアプリ向けスタンプ等の新規開発が順調に推移した一方、開発体制の強化を図るため、人員採用と教育を進めました。また、ナショナルクライアントや地方自治体向けのマーケティング・サービスにおいては、セールスプロモーション企画調査支援サービス「DHSS」を開発するなど、サービス体制の強化を図ることで、劇場公開関連売上がなかったものの、販売は概ね順調に推移いたしました。

IPクリエイション領域においては、IPの映像コンテンツの企画開発・制作及び総合的なプロデュースを展開しております。

当第2四半期累計期間においては、「秘密結社 鷹の爪」、「パンパカパンツ」及びその他IPのTVシリーズ・WEBシリーズの継続により、既存IPの認知度向上及び世界観醸成に努めたほか、共同キャラクター事業等による新規IPの創出に向けた取り組みを行いました。

また、当第2四半期累計期間においては、劇場公開等の大型案件がなかったため（当期は主に第4四半期に公開予定）、前年同期に比べ売上が減少したものの、その他販売は概ね順調に推移いたしました。

その他、スマートフォン向け15秒動画SNSアプリ「Mechika（メチカ）」を運営するGlue-th株式会社への第三者割当増資の引受、及び「Mechika」のエンジンを活用した新規サービスのスマートフォン向け動画コミュニケーションアプリ「ShowMeEx（ショーミックス）」のサービスを開始いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は842,947千円（前年同四半期比13.2%減）、経常利益は109,726千円（前年同四半期比41.1%減）、四半期純利益は69,220千円（前年同四半期比72.2%減）となっております。なお、四半期純利益の前年同四半期比が経常利益に比べ大きく減少しておりますが、これは法人税等調整額が前第2四半期累計期間においては利益として計上されましたが、当第2四半期累計期間においては費用として計上されたことによるものです。

なお、当社は、ファスト・エンタテインメント事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して2,877千円減少し、1,857,503千円となりました。これは受取手形及び売掛金247,576千円及び投資その他の資産のうちの投資有価証券65,500千円の増加があったものの、現金及び預金248,630千円及び出資金67,346千円の減少を主要因とするものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して75,098千円減少し、376,494千円となりました。これは買掛金16,511千円の増加があったものの、短期借入金30,000千円、1年内返済予定の長期借入金17,978千円、長期借入金21,620千円及び未払法人税等13,027千円の減少を主要因とするものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して72,220千円増加し1,481,009千円となりました。これは四半期純利益69,220千円の計上及び新株発行に伴う資本金及び資本剰余金の増加3,000千円を主要因とするものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ248,630千円減少し、815,149千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は、114,495千円(前年同期は、20,627千円の増加)となりました。これは主に、税引前当期純利益109,726千円の計上及び出資金67,346千円の減少があったものの、売上債権247,576千円、たな卸資産13,734千円の増加及び法人税等の支払20,646千円等の要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、75,721千円(前年同期は、3,552千円の減少)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出65,500千円及び無形固定資産の取得による支出8,780千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、67,257千円(前年同期は、69,528千円の減少)となりました。これは主に株式の発行による収入2,340千円、短期借入金の返済による支出30,000千円及び長期借入金の返済による支出39,598千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の業績予想につきましては、概ね当初の見込みどおりに推移しており、平成26年8月12日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,063,779	815,149
受取手形及び売掛金	355,056	602,632
商品	12,043	21,457
仕掛品	25,385	29,706
その他	57,413	37,693
流動資産合計	1,513,678	1,506,638
固定資産		
有形固定資産	7,541	8,002
無形固定資産	15,635	21,362
投資その他の資産		
出資金	274,405	207,059
その他	49,121	114,441
投資その他の資産合計	323,526	321,500
固定資産合計	346,703	350,865
資産合計	1,860,381	1,857,503
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,926	77,437
短期借入金	30,000	—
1年内返済予定の長期借入金	73,526	55,548
未払法人税等	24,987	11,960
その他	179,318	170,334
流動負債合計	368,758	315,280
固定負債		
長期借入金	82,834	61,214
固定負債合計	82,834	61,214
負債合計	451,592	376,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	739,285	740,785
資本剰余金	516,785	518,285
利益剰余金	152,718	221,939
株主資本合計	1,408,788	1,481,009
純資産合計	1,408,788	1,481,009
負債純資産合計	1,860,381	1,857,503

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	971,545	842,947
売上原価	571,612	416,946
売上総利益	399,932	426,001
販売費及び一般管理費	210,190	324,819
営業利益	189,741	101,182
営業外収益		
受取利息	19	84
為替差益	4,135	9,819
その他	0	21
営業外収益合計	4,154	9,925
営業外費用		
支払利息	2,699	722
上場関連費用	2,750	—
株式交付費	—	659
その他	2,289	—
営業外費用合計	7,738	1,381
経常利益	186,157	109,726
税引前四半期純利益	186,157	109,726
法人税、住民税及び事業税	15,297	9,262
法人税等調整額	△78,426	31,243
法人税等合計	△63,128	40,505
四半期純利益	249,286	69,220

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	186,157	109,726
減価償却費	2,234	3,470
受取利息	△19	△84
支払利息	2,699	722
為替差損益(△は益)	△2,764	△8,843
売上債権の増減額(△は増加)	△210,479	△247,576
たな卸資産の増減額(△は増加)	72,439	△13,734
出資金の増減額(△は増加)	102,485	67,346
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,986	16,511
その他	△108,710	△20,806
小計	31,056	△93,270
利息及び配当金の受取額	19	84
利息の支払額	△4,071	△663
法人税等の支払額	△6,375	△20,646
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,627	△114,495
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△65,500
有形固定資産の取得による支出	△451	△1,620
無形固定資産の取得による支出	△200	△8,780
敷金及び保証金の差入による支出	△2,901	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,552	△75,721
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000	△30,000
長期借入れによる収入	145,000	—
長期借入金の返済による支出	△256,425	△39,598
株式の発行による収入	11,896	2,340
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,528	△67,257
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,764	8,843
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△49,689	△248,630
現金及び現金同等物の期首残高	246,239	1,063,779
現金及び現金同等物の四半期末残高	196,549	815,149

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ファスト・エンタテインメント事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。